

氏名	宮田 絵津子
学位の種類	博士 (文学)
報告番号	乙第305号
学位授与年月日	2015年3月31日
学位授与の要件	学位規則(昭和28年4月1日文部省令第9号) 第4条第2項該当
学位論文題目	Trade Structure and Network between Asia and America during the 16th and 17th Centuries: Portuguese Intervention in the Manila Galleon Trade (16, 17 世紀におけるアジア-アメリカ間の交易構造とネット ワーク - ガレオン貿易におけるポルトガル人の介入について)
審査委員	(主査) 弘末 雅士 上田 信 Rocha De Sousa Lucio (東京外国語大学世界言語社会教育センター特任准教授)

## I . 論文の内容の要旨

論文名 Trade Structure and Network between Asia and America during the 16<sup>th</sup> and  
17<sup>th</sup> Centuries: Portuguese Intervention in the Manila Galleon Trade

(1) 論文の構成

### **Introduction**

#### Chapter I

#### **The Arrival of the Portuguese and the Spaniards in the Asian Waters**

1. The Expansion of Iberian Powers towards Asia
2. Trade in the Asian Region before the Arrival of the Portuguese and the Spaniards and Their First Contacts
3. The Establishment of Manila
4. Manila and Macao Trade and Other Port Cities
5. Chinese in Manila

#### Chapter II

#### **Commerce and Merchants in the Manila Galleon Trade**

1. Flow of Goods from Manila to New Spain
2. Market Structure and Mexican Merchants
3. Participation of Religious Orders and Contraband
4. Merchant Diaspora and Network

#### Chapter III

#### **Exported Chinese Porcelains in New Spain**

1. Export Route from Southern China to New Spain
2. Chronology, Typology of the Exported Chinese Porcelain Excavated in the City of Mexico and Its Change during the 16<sup>th</sup> and the 17<sup>th</sup> Centuries
3. Material Culture and Porcelains in the Society of New Spain

#### Chapter IV

#### **Distribution of Chinese Ceramics and Asian Products in the Spanish Society**

1. Archival Study on Asian Products Exported to Seville from Veracruz
2. Chinese Porcelains Excavated from Seville
3. Chinese Porcelains in Lisbon and the Galician Coast
4. Classification of Ceramics from Lisbon
5. Porcelain Trade from Lisbon to Amsterdam

### **Conclusion**

### **Glossary**

### **Appendix**

## (2) 論文の内容要旨

本論文は、アジアとニュースペイン（メキシコ）を結んだマニラ・ガレオン貿易において、絹だけでなく他の交易商品に注目し、ポルトガル人、なかでも改宗ユダヤ人商人が、重要な役割を担ったことを明らかにしようとする。

第1章では、アジアの交易網のなかにポルトガルとスペインの両勢力が参入した実態が明らかにされ、ポルトガルの交易活動の急速な拡大が、マニラをマニラ・ガレオン貿易の拠点港市として台頭させる重要な要因だったことが論じられる。一方マニラ在住の華人は、労働者や職人が多く、交易者としてはポルトガル人がより重要だったことを提示する。

第2章は、マニラからニュースペインに輸出された物品について検討する。絹製品や織物が従来注目されてきたが、陶磁器や奴隷にも光をあて、修道会が貿易に関わっていたこと、メキシコ商人やポルトガルの改宗ユダヤ人がそれらの取引をとおして、メキシコ経済で重要な役割を担ったことを明らかにする。

第3章は、難破船に残された陶磁器を検討することとおして、南部中国からマカオを経由し、メキシコへ至る交易ルートを考察する。そこでのポルトガル人商人と華人商人との棲み分けが、論じられる。またニュースペインへの陶磁器の輸出が、16世紀後半から17世紀初めにかけてピークだったことを明らかにし、これらの陶磁器がメキシコに受け入れられて、独自の物質文化に発展したことが検討される。

第4章は、スペイン、ポルトガル、オランダで発掘された陶磁器を考古学的に分析し、16-17世紀のヨーロッパの先進国の交易活動や物質文化について検討する。中国陶磁器の時代査定や型、発掘された分量を考察することにより、スペインとポルトガルにおける中国陶磁器の受容とヨーロッパ他地域への陶磁器の分配ルートを明らかにする。

以上の考察をとおして本論文は、フィリピンに拠点を構えたスペインがマニラ・ガレオン貿易を行うことができたのは、アジア交易に既にネットワークを有したポルトガル人の協力があり、彼らのなかでもアジアからメキシコ、ペルー、さらに大西洋岸に広範な交易ネットワークを有した、改宗ユダヤ人がいたためであったことを明らかにした。さらに、こうした改宗ユダヤ人がリスボンからアムステルダムに移っていくことで、対アジア交易の物品の流れが変化していくことを、残された中国陶磁器の分析をとおして提示した。

## II. 論文審査の結果の要旨

### (1) 論文の特徴

本論文は、中南米の銀と中国の絹織物などを交易したマニラ・ガレオン貿易において、16世紀後半から17世紀にかけてポルトガル人が果たした役割の重要性を、スペイン側の史料と発掘された中国陶磁器の分析をとおして明らかにしたものである。宮田氏は、アジア海域に参入したポルトガル人の活動に関する先行研究を総合的に検討し、フィリピンに拠点を構えたスペインがガレオン貿易を展開するために、中国をはじめアジアでの交易活動に既に参入していたポルトガル人に依存したことを、これまで十分に活用されていないスペイン語の未公刊文書から明らかにする。またそうしたポルトガル人商人の活動を、アジア海域やフィリピン、メキシコで発掘された中国陶磁器からも裏打ちする。さらに大西洋貿易におけるポルトガル人の交易網を、スペインやポルトガル、アントワープ、アムステルダムで発掘された中国陶磁器をとおして検討する。地球的規模で展開し始めたポルトガル人の交易活動を、文書史料と陶磁器の分析を絡めて多角的に論じたところに、本論文の特徴がある。

### (2) 論文の評価

これまでマニラ・ガレオン貿易におけるポルトガル人が果たした役割には、十分な光が当てられてこなかった。宮田氏がスペイン側の史料と残された中国陶磁器の検討から、ポルトガル人商人の担った役割の重要性を明らかにした点は、高く評価できる。また16・17世紀のポルトガル人が展開した世界的規模での交易活動を、ガレオン貿易とともに大西洋岸ヨーロッパも視野に入れ、世界各地で発掘された中国陶磁器の分析をとおしてその実態に迫ったことも評価できる。なおポルトガル語史料にもとづく交易活動の考察は、先行研究に依拠しており、多様なポルトガル人商人について検討するためには、今後ポルトガル側の文書も活用することが求められよう。

こうした課題を残すが、本論文は16世紀・17世紀のアジア、アメリカ、大西洋岸ヨーロッパの間の貿易を改宗ユダヤ人の活動に着目しながら、交易物品、交易ルート、商人、社会を絡めて論じた貴重な研究といえる。ガレオン貿易の研究のみならず、近世の東南アジアや東アジアの交易活動、さらには近世ヨーロッパのポルトガル、スペイン、オランダの対アジア貿易の研究にも、新たな光を投げかける。陶磁器片の分析という考古学的手法から出発し、歴史の見方に根本的な変換を迫る研究といえよう。